

営農経済部 稲作 特別情報

今年度も、管内 18 地区の定点圃場で病害虫、分げつ、草丈などの水稲生育状況調査を行い、毎週、病害虫の発生状況などの情報提供を行いますので、ご活用ください。

令和 4 年は、少雨による水不足が問題となる地域がありましたが、広島地方気象台は、29 日中国地方が梅雨入りしたとみられると発表しました。去年より 13 日、平年より 8 日早い梅雨入りとみられます。

今後の天気の移り変わりに注意し、台風 2 号の進路にも注視しましょう。



水稲調査日 5 月 25 日

水田では、昨年同様に藻の発生が多発し、緑色が目立っています！
藻の発生による影響と対策をご紹介します！！

【藻の発生しやすい条件】

- ① 水の動きがなく、深水
- ② 日照時間が長く、水温 20℃ 以上
- ③ 有機物などに含まれる 窒素やリン酸が多い



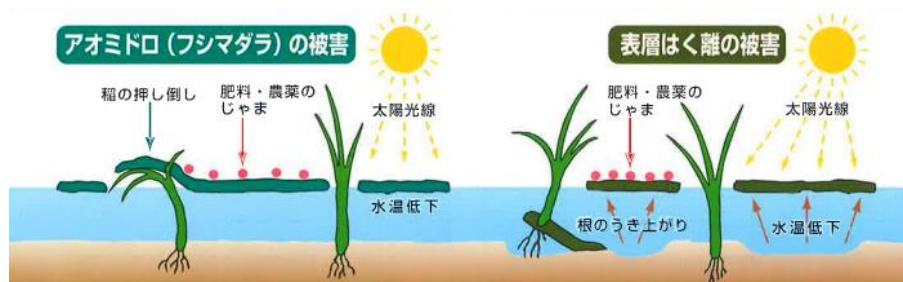
▲モゲトン粒剤

【藻の発生による影響】

- ・水温、地温が上がらない
→ 新根の発生が遅れ、活着が遅れる
- ・除草剤等を散布すると薬剤が広がらない
→ 除草剤の効果が十分に発揮しない



▲モゲトンジャンボ



【藻の対策】

- ① 浅水管理をする
- ② 落水、入水を行い、水の循環を行う
- ③ 藻の除草剤「モゲトン粒剤」「モゲトンジャンボ」を散布

～忘れていませんか？トビイロウンカのこと！！～

令和 4 年度は、ほとんどトビイロウンカの飛来がなかったのですが、残念ながら稲刈り間近に南部で若干坪枯れが発生しました。

令和 5 年度は、株元を中心に観察を行い、**被害ゼロ**を目指しましょう！

◆ トビイロウンカ（令和 5 年 5 月 25 日現在）

JA 広島市管内では、トビイロウンカの飛来は未確認。



▲長翅型成虫